



Sabae Rotary Club

R | 第2650地区 2019-2020年度 鯖江ロータリークラブ

2019-20年度 国際ロータリーテーマ

2019-20年度 第2650地区スローガン

ロータリーは
世界をつなぐ



伝統と革新
世界はひとつ



鯖江ロータリークラブ会長方針

心で繋がろう

会長 清水 康弘

第2935回
6/26(金)

6月第4例会

点鐘: 12:45

2019-2020年度 鯖江ロータリークラブ
最終例会

「天狗楼」に於いて懇親会 18:30~

第2936回
7/3(金)

7月第1例会

点鐘: 12:45

2020-2021年度 鯖江ロータリークラブ
役員引継ぎ・会長方針発表

7月第2例会

点鐘: 12:45

2020-2021年度 鯖江ロータリークラブ
委員長方針発表

第2937回
7/17(金)

6/26(金)

第2935回
例会報告

注:会場の都合で第2937回例会は7月17日です

4つのテスト

- ① 真実かどうか
- ② みんなに公平か
- ③ 好意と友情を深めるか
- ④ みんなのためになるかどうか

開 会 点 鐘
四 つ の テ ス ト
会 長 の 時 間
幹 事 報 告 等
プ ロ グ ラ ム
閉 会 点 鐘

Zoom参加者紹介

- 大島 会員
- 園 会員
- 馬場 会員
- 瀧谷 会員

会 長 の 時 間

清水 康弘 会長

陸上競技の短距離走や長距離走は100m走200m走や50km競歩の様にすべてメートル法による切りのいい数字で行われています。マラソンでも5kmや20kmの様に切りのいい数字で行われています。しかしなぜかフルマラソンになると42.195km。では何故フルマラソンは42.195kmという中途半端な距離になったのでしょうか？

もともとマラソンの語源は、
[紀元前450年9月12日、アテナイの名将ミルティアデスはマラトン(Mαραθών, Marathon)に

上陸したペルシャの大軍を奇策で撃退した。マラトンの戦いである。勝利というエウアンゲリオン(良い知らせ)をアテナイの元老に伝えるためにフィディピデイス(Philippides)という兵士が伝令に選ばれた。フィディピデイスはマラトンから約40km離れたアテナイまでを駆け抜け、アテナイの郊外で「我勝てり」と告げた後に力尽きて息を引き取ったと言われている[1][2]という故事に由来するそうです。この兵士を偲び、兵士が走った約40kmを、第1回オリンピックで走ったのが起源と伝えられています。

マラソンが競技として実施された際、まだ大会ごとの距離は一定ではなく、「約40km」という曖昧なきまりで走っていたそうです。

その後、第4回開催のロンドンオリンピックにて、市街地42kmに加え、競技場の200mトラックを1周弱という、42.195kmの数字が出てきます。この距離が第8回パリオリンピック以降、正式な競技距離として採用される運びになりました。

なぜこの距離が採用に至ったかという、時のイギリス王妃・アレクサンドラが「スタート地点は宮殿の庭で、ゴール地点は競技場のボックス席の前に」と注文をつけた、という説が有力なようです。その微妙に余ってしまった走行距離が今まで受け継がれ、現代もそのまま走り続けていると思うと、何だか不思議ですし、面白く感じてしまいますね。

RCの会長をさせて戴くことになった時に一番困ったことは、会長の時間に何を話せばいいのか？一年間で50回も話ができるのか？ということでした。コロナのお蔭で回数が減り今日で34回目となりました。こんな話でよかったのかは別として何とか乗り切りました。

皆様一年間お付き合いありがとうございました。

鯖江商工会議所 4階大ホール

幹 事 報 告



酒井 雅憲 幹事

非常に残念なお知らせがあります。

退会希望者がございまして、武内隆敏会員、酒井優嘉会員、笠原昌示会員の3名が正式に退会届を提出され、持ち回り理事会にて承認されましたのでご報告いたします。非常に残念なことです。

本日18時30分より天狗楼に於きまして、年度末の懇親会を開催させていただきます。参加申し込みをされている方は、忘れずにご参加いただきますようお願いいたします。

出席100パーセント スマイル 表彰

出席100%表彰

- ・吉田 俊博 会員
- ・梅田 吉臣 会員
- ・孝久 治宏 会員
- ・野中 敏昭 会員
- ・増永 英彦 会員
- ・窪田 健一 会員



スマイル表彰(上位3名)

- ・齋藤 多久馬 会員
- ・幸道 森市 会員
- ・西尾 俊一 会員



2019-2020年度 鯖江ロータリークラブ 最終例会



清水 康弘 会長

1年を振り返り

昨年7月5日第一例会が2,900回目という切のいい数字の下「心で繋がろう」をテーマにスタート致しました。

7月第2例会が佐竹力總ガバナー公式訪問でした。ガバナーとの懇談会で出す飲み物やお菓子を何にするかで悩みました。というのも以前木村英富会長の幹事をした時に、木村会長の従兄弟である下村パストガバナーから「私が会長をした時のガバナーは京都福寿園の福井正典ガバナーで、懇談時のお茶は福寿園から取り寄せお出ししたら、これは私の処のお茶ですね、とすぐに気づかれ懇談会は順調にいったので何を出すかは吟味しないといけない」と言われ、その時は下村さんにお茶出しをお願いし、生麩のお菓子をお出ししたと記憶しています。しかし今回のガバナーは京都の老舗料亭のオーナーという事でどんなお茶を出しても駄目だという事で天狗楼さんの横のアルザスコーヒーさんにお任せでアイスコーヒーとチーズケーキを用意してもらいました。当日ガバナーから紹介された幹事は、あの辻利の社長だと言われた時には

「やったー。コーヒーとケーキで大正解」と心の中で叫びました。また皆さんがケーキも残さず食べて頂いたのもそれだけで大変満足して、どんな話をしたのかはあまり覚えておりません。

8月は2つの高校模擬面接にたくさんの方々が協力いただきました。

9月には大橋社会奉仕委員長の下、60周年記念事業「防災」をテーマにした松島康生さまの講演会を行いました。これにもたくさんの方々が協力いただきました。

そして10月には幸道60周年実行委員長の下、27日に記念式典を行いました。会員の皆様がおもてなしの心でたくさんのお客様に接して戴き、松原六郎ガバナーエレクトの記念講演から懇親会におけるアトラクションも素晴らしく、お客様皆様に満足して帰って頂いたことと確信しております。

順調に進んで、後は国際交流事業をどうしようかと考えていたところでコロナの問題がちらほらと世間を騒がしにかりました。

3月の第一例会で急遽、木村明先生にコロナウィルスについて話を戴き、その中で来週からの例会は欠席しますと宣言をされました。この言葉が効いたのか、その後に行った定例理事会で満場一致で例会の休止が決まりました。防災について学んだのに、このような災害は想定しておらず皮肉な結果となりました。何をしたいのか判らないまま無駄に時間が過ぎてしまいました。

4月に一度、馬場会員と瀧谷会員に無理をお願いして臨時会報を出して戴きました。皆様からの反響があれば続報を考えていましたが、全く反響はありませんでした。皆様読んで戴いたのでしょうか？

そうこうするうちに急速にコロナ禍が収束して、本日を迎えるに至りました。再開して一番うれいのは木村明先生の出席です。コロナウィルスの危険性を指摘して欠席を宣言された先生の例会出席



は今の鯖江の現状を示す指標みたいなものだと私は勝手に考えています。

何もできない会長で皆様にはご迷惑をおかけしましたが、村上RCの60周年や福井南RCの50周年式典が中止や延期になったことを考えると、それだけでも我々クラブは良かったなと思います。

残念なことは、新入会員を一人も増やせず逆で退会者が5人も出た中で、次年度に引き継ぐことになったことです。野中次年度には本当に申し訳なく思っております。

皆様に温かく見守って戴いたおかげで今日の日を迎えることができたことに感謝を申し上げると共に、本年以上に野中次年度にご協力いただけること

を念じ、締め言葉とさせて頂きます。



酒井 雅憲 幹事

1年を振り返り

1年間、何もできなくご迷惑をおかけしました事をお詫び申し上げます。新年度第1回の時に父が手術の時を逃してしまった事で、最初の日に幹事がいないというスタートでした。その後ガバナー公式訪問を迎え、佐竹ガバナーがご自分で行くよと下さり無事終えることが出来ました。

60周年記念行事では「防災講演会」を、また、式典に於きましても皆様方に細かい事から全てをご協力いただき、大成功に終えることが出来ました。姉妹クラブの方やガバナーからも、60周年記念式典が良かった、素晴しかったとお褒めの言葉を頂き、鯖江の底力を皆さんに分かってもらい非常に嬉しかったです。懇親会につきましては、大島親睦委員長が適任でありまして、村上・尼崎東・県内クラブ会長等に気配りをいただいたのが、非常にありがたかったです。

幹事をさせていただいて鯖江クラブのことが理解できるようになり、皆さんは1年間こういう考えで、こういうスケジュールで動いていらしたのだなと分かりました。やってみないと分からないことに気づかされました。非常に感謝しております。1年間ありがとうございました。

役員引継ぎ・次年度会長・幹事挨拶



野中 敏昭 次年度会長

只今バッジの交換をさせていただき、これから始まるのだと気の引き締まる思いで一杯です。会長バッジは昭和34年にできたもので、私の生まれた年と同じです。

次年度1年間、精一杯頑張りますので皆様どうぞよろしくお願いいたします。



瀧ヶ花 秀晃 次年度幹事

早速幹事報告です。7月3日からの次年度例会ですが、6月から並行して行われているオンライン会議は、引き続き行います。また、設備を充実し、オンライン参加者にもより良い環境を提供していきたいと思っています。

7月からお弁当を再開いたしますが、前もってご注文頂く形となります。お食事いただく時間は12:15～12:45の間とし、12:45開会点鐘ですので、お間違いの無いようお願いいたします。

新たな試みを皆様のご意見を頂きながら、より良い例会にしていこうと思っております。コロナ関連で大変な時期ですが明るい未来は必ず来ると信じてより良い例会を目指しますので、皆様のお越しをお待ちしています。

ここにBOX報告

清水 康弘	会員	一年間ありがとうございました
野中 敏昭	会員	会長幹事ご苦勞様でした。次年度瀧ヶ花幹事と頑張ります
齋藤 多久馬	会員	結婚祝いをいただき一年間ありがとうございました。
窪田 健一	会員	年度末懇親会楽しみましょう
帰山 明朗	会員	清水会長 酒井幹事 大変お疲れ様でした
孝久 治宏	会員	勤続6年できました。
野呂 和夫	会員	会長・幹事一年間お疲れ様でした
大橋 良史	会員	清水会長 酒井幹事 大変お疲れ様でした
佐野 直美	会員	皆様一年間お疲れ様でした。会長幹事一年ありがとうございました
増永 英彦	会員	早退します